

緑

のふるさと協力隊

桃井 侯樹 No.2

「築上町を存分に

味わった1ヶ月」

築上町に着任し、1ヶ月が経ちました。ほんの1ヶ月ですが、存分に築上町を味わわせていただいています。

さて、この1ヶ月でどんな活動に参加したかというと、1つ目！柴燈護摩大祭です！「護摩焚」という行事自体に初めて参加しました。ヒノキの樹を切り出し、塔のようにくみ上げ、ヒノキの葉っぱで飾りをして、「人間の欲望」を表すそれを、山伏さんの読経が轟く中で燃やしていく。谷地の田園風景が広がる中で、もくもく煙を上げ、時折火柱を上げる様子は、異様であり、美しい。まるで龍が空へ昇っていくかのようにであります。来場者は200名程で、運営するにもちよつどいい規模感のようです。日本の文化を目、耳、におい、音で感じられるお祭りだと思えました。ブース出店もあり、ポンポン菓子（初めて食べました）、おしゃれな鹿を使った手作りアークセサリー、しし鍋（いのししのスープ）、おいしいカレーなど、心も身体も満たされる経験でした。準備の最中、たま

たまゲットしたというイノシシの解体に遭遇！龍城院の方々は、本当に丁寧に包丁を入れていました。「残すところなくいただくことが供養になる」と教えてもらい、命をいただくことへの感謝を感じました。お祭りの打ち上げにも参加をし、お母さんたちのおいしい料理、「山遊び」について嬉しそうに語るお父さんたちのお話に大満足でした。

2つ目は、宇留津でのアスパラガスの収穫です！アスパラ（アスパラガス収穫のプロ）のお母さん達に教えてもらいつつ、アスパラの成長力にびっくりな日々でした。すく、ぐん！と伸びるんですね。ビニールハウスの中にはアスパラガス以外にも雑草が生えます。それを1時間くらい取りました。暑くて汗だくになりました。しかし、お母さんたちはスルスルス！と作業を進めていきます。参りました。やはりアスパラはすごい。その後、アスパラ料理をご馳走になり、その甘さ、繊維が残らないことに感動しました。

御神輿を一目納めるのですが、なかなか納まりません。はつきりいって、辛かった！正八幡宮に帰ってきた時には、クタクタになっていましたが、楽しさが先に溢れました。

4つ目は、船迫神幸祭です！午前中高木神社から御神輿を担いで、ちよつと移動させ、お昼ごはんを食べ、午後から地域を練り歩きます。担ぎ手がギリギリという状況で、回りましたが、船迫の方々は黙々と、そして力強く歩を進めていきます。休憩場所では、お酒をいただきますが、皆さん飲む量が半端じゃない！ということ。御神輿が終わった後の直会では、へっへっへっ潰れてしまいました。ご迷惑をおかけしました。

5つ目！奈古神幸祭です。御神輿は専用の車輪に乗せて、色とりどりの旗を持ち、地域を練り歩きます。子ども達が多く参加していて、見た目も、雰囲気もにぎやかなお祭りでした。

6つ目は、宇留津神幸祭前夜祭！緑のふるさと協力隊OB 岩田達也さんに誘われ、お祭りの演目（けん玉のお手伝い）をしました。海が近いということ、漁業も行っています。実際に、漁師さんや、お世話になったアスパラガス収穫のお母さんたちにも会え、感動でした。子どもたちや、消防団の方々の地域のお父さん達の発表などで大いに盛り上がっていました。

7つ目は神楽です。日本の伝統芸能神楽。築上町には多くの神楽があります。中でも湊の金富神楽は、歴代の緑のふるさと協力隊を受け入れてくださっています。毎週月曜日、金曜日に練習があり、がつり練習をするときもあれば、わいわいお話して終わるときもあり、その雰囲気も素敵！興味津々なので、これからも皆さんから学んでいきたいです。

お世話になっているといえば、緑のふるさと協力隊はここ数年、下香楽に住まわせてもらっています。下香楽の方々は、とにかく優しい！知らぬ間に協力隊着任の新聞記事を切って、掲示板に貼っていたり、落ちた洗濯物を掛けてくれたり。一年間お世話になっているところなので、お庭の手入れ等もきつちりやり、積極的に下香楽の行事にも参加していくと思っています。

お世話になった皆さん、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。まだお会いしていない方もよろしくお願ひいたします。



▲田面ライダー参上!!
ためん